e-BEEF NEWS From A North Pasture

e-ビーフNEWS 北の牧場から

月刊情報誌
No.141

発　行
特定NPO環境リサイクル肉牛協議会
〒080-0351
北海道河東郡音更町字然別
北5線西25番地2
FAX 0155-40-7301

September 2025

十勝は、気温の下がりが急。

内地ではまだまだ猛暑日連続のニュースはうそのよう。朝方は20℃を下がり涼しいから上着を羽織るほど。日中は30℃近くまで上がっても体は楽になってきた。一昨年のような熱帯夜がなかったのが、牛にとっても救いで事故も少なかった。5月からの異常高温（平均5℃アップ）は、十勝畑作農家に深刻な影響を与えた。今、収穫真っ盛りのジャガイモは小粒、変形が多く、収量減に。急拡大したブロッコリーなどの野菜の収量減が顕著になっている。牛たちの乳量減がここにきて出てきた。

デントコーンの収穫が始まった。8月末の収穫作業は初めて。スタックの山に青生臭いにおいが広がる。牛たちに与えるおいしい飼料を詰め込んだ。裏作でライ麦を、不耕起で播種する。農産の新たな挑戦が始まっている。澄み切った秋の空気が、収穫期の十勝平原から日高山脈を輪郭クッキリに蒼く浮かばせる。まだまだ日があるのに1年間早かった気がする

活動のお知らせ

9/15(月) 13:00～17:00	**日本産肉研究会第36回学術集会** 岐阜大学 第Ⅲ会場（応用生物科学部棟103）定員100名 シンポジウムテーマ「今、国内の牛肉生産に求められていることとは?」 【参加申込】 https://docs.google.com/forms/d/1bk_xJrEuW8wQ8jxR5H9NHeNnSlLUSneHuSZdpljdOLI/edit
10/22(水)	**HOBA北海道オーガニックビーフ振興協議会臨時総会**　とかちプラザ **HOAP一般社団法人　日本オーガニック畜産会合設立総会**
10/23(木)	**第12回北海道肉専用種枝肉共励会** 北海道畜産公社 十勝工場 **第22回 資源循環型肉牛生産シンポジウム2025「Future With Cows 牛とともに歩む未来～資源循環型生産の一事例から～」** 映画上映「World Without Cows ～牛なき世界」 基調講演「エコフィードを活用した有機肉用牛生産に係る環境負荷の試算」 講演者：農林水産省　研究統括官室　堤　道生　氏　ほか

NEWSばか読み

- 飲用乳価4円上げ価格実施 店頭価格への影響は未定8/1：需要との関わり懸念
- 国土交通省 東京一大阪間80㎞自動物流道路30年代8/1：無人化進む
- 農水省 環境直払い9万ha4.7%増みどり戦略で意識向上8/2：
- 北海道生食用ジャガイモ 男爵から線虫耐性品種に世代交代進む 8/4：
- 農水省 25年上半期農産輸出額5200億円16%増、緑茶、牛肉伸びる 8/5：
- 青果卸 24年度 取扱高増収増益7割収支改善8/5：集約化へ
- 世界で深刻な暑さ 食料の依存は危険8/6：
- 総務省日本人口1億2千万人 過去最大90万人減8/7：減るヘル
- 農水省 23年度コメ生産で56万t不足 需給把握が課題 8/8：需給バランス実態把握できず
- 農水省 全国に水稲カメムシの異常多発で追加防除支援 8/9：異常気象虫多発
- ノーサイ 収入保険の加入が10万件超え8/11：リスクに対し自己防衛
- 農水省 有機表示違反24年度18件未認証やマーク無し販売 8/15：まだまだ
- 農水省 鶏肉の食中毒予防の生産者向け手引書12年ぶり改訂8/16：
- 6月マルキン発動 16都道県 需要低迷で増8/19：
- 欧州研究チーム 22−24年世界各地で食料品高騰 極端な高温干ばつ豪雨、、、8/20：
- 米国農務長官 農地の再エネ補助金を撤回 8/20：農地保護が目的なのか
- 政府 備蓄米・随契米の販売期間を延長8/21：コメ政策コロコロ
- JA鹿児島 肉牛でカーボンクレジット初認定 8/23：脱酸素をお金に
- ソフトバンクG「アニマルック」遠隔診療サービスが拡がる 8/25：診察判断適格性
- 愛媛県 鳥インフル時に泡殺で省力化実証8/25：合理的に
- 2026年農水概算要求2.7兆円17%増コメ安定生産 統計精度向上へ 8/26：コメ農水
- 電通調査 再訪したい国に日本 動機は日本食8/26：良い食べ物を
- 山陰パナソニック 緑レーザーで牛舎のカラス撃退8/27：
- 学校給食無償化自治体で食物アレルギー対する弁当無償化拡大 8/27：公平性
- 乾田直播 急拡大 コメ作の省力化大型化進む8/27：
- 農水省 23年化学肥料使用量が25%減 高騰影響8/30：自然と減肥

東京直近NEWS(8/29　Shi-REPORT)

ホルス

市況相場は上場少なく上げ基調にて推移し、産地相対相場も上げ基調継続しており国産牛価格の底上げ状況。
頭数の慢性的不足から産地メーカープレ値での取り合い、買付建値相場上昇中。
生産者も生産コスト上昇していることから強気な交渉状況。
販売面は逆に酷暑続いており食品全般値上げから消費は低迷。
特に盆休明け以降さらに消費鈍っており問屋筋も在庫消化に注力雰囲気。
上位部位はかなり鈍く、切落しが唯一動き有るものの9月中は全般鈍いのではないか。
頭数は慢性的に不足し、相場水準は高値も部分肉の値上げは難航しそう。

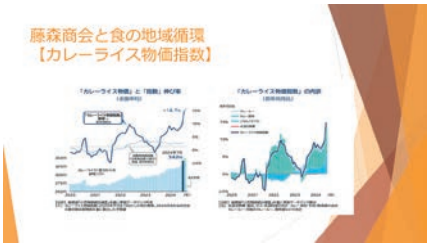
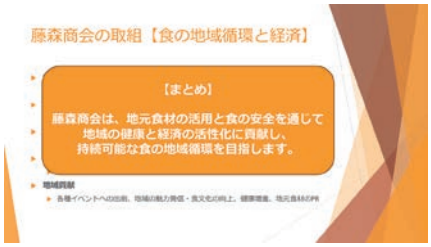
経産牛

北海道内の出回り頭数の減少基調は継続課題。
北海道外（本州）の地域も減少傾向深刻で、道内市場への買参人は日々増加中しており生体輸送費コスト上昇でも、集荷課題クリアの意図から購買欲は強気変わらず。
相場は高値上昇が続いており、枝肉@1000突破もし始めている。
販売面はパーツ不足感強く、赤身モモ,バラ系ロインも余剰無し。
加工原料としての冷凍アイテムも不足しており、バラ系やモモ赤身原料確保に苦慮し不安感強まる。
挽材はパーツよりも品不足感が深刻な状況。
定期定量販売分も不安感強まっており、この先の情勢が読めなくなりつつある。

畜産学研究NEWS

反芻動物の科学Ⅲヒートストレスとその対処　ELF　Consulting Office
10/30/2024　Toyohiko Seno　6回シリーズ⑤

資源循環型肉牛生産シンポジウム 2024

転載・再利用は固くお断りします

話題提供2.「活用事例　藤森商会と食の地域循環」3回シリーズ③
藤森商会　代表取締役社長　藤森 康容 氏